



国際地学オリンピック三重大会

～運営委員会ニュース～

<http://jeso.jp>



独など三ヶ国

新たに参加表明

三重大会へ新たにドイツ・フィリピン・ルーマニアの計三ヶ国からエントリーがありました。
現在、先月お伝えしたフランス・トルクメニスタン・バングラデシュ・ナイ

ジェリア・パキスタンの五ヶ国を含め、計八ヶ国がエントリーしています。
今後、各国のエントリー状況は三重大会ウェブサイトに掲載してまいります。

(三重県熊野市を一望する峠から)



われる予定です。

三重大会では五日目に三重県南部の熊野市で、木本高校の皆さんの協力のもとに行われます。そして六日目に調査結果と与えられた情報のもと、スライドやポスターを準備し発表会が行われます。

(三重県熊野市の熊野古道)



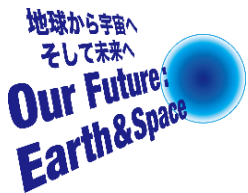
ITFI の開催に向けた準備 順調

ITFI(International Team Field Investigation)とは、国際地学オリンピックの大会期間中に開催されるイベントのことで、筆記試験や実技試験とは異なり各国チームの選手が国籍とは関係なくチームを成し、与えられた課題を探究する野外調査のことです。
これは他の科学オリンピ

IESO KIDS

三重大会をサポート

IESO(International Earth Science Olympiad)とは国際地学オリンピックのことであり、IESO KIDS とは過去に国際大会に参加した選手による有志の大会サポーターのことです。
大会開催中、IESO KIDS は選手を引率する各国のメンターのサポートを行う予定です。



冬は空気が澄み、夜の星がよりきれいに見える季節ですが、なんと太陽系九番目の惑星発見のニュースが飛び込んできました。
公転軌道を一周するのに一〜二万年もかかると推定されているそうです。
(編集担当者・筑波大学 多田健太郎)

ひんぎ

運営委員会会議 (一月)

一月九日(土)に行われた第四回地学オリンピック運営委員会会議では、主に大会五日目の国際協力野外調査(ITFI)の準備状況の報告と IESO KIDS の作業内容について検討されました。
また、各国のエントリー状況などについても確認がなされました。

(第四回地学オリンピック運営委員会会議の様子)

